

E 建設候補地及び施設内容に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
25	<p>生涯学習施設の計画は大変良いと思います。</p> <p>しかし場所が嘉平山とのことですが、大多数の市民が車で利用になると思います。</p> <p>自転車や、歩きで、子供から高齢者まで日常的に気楽に行けて利用できる場所を希望します。</p> <p>又、市内中心に公園がなく子供達が遊べる所も作ってほしいと思います。</p>
30	<p>・多目的施設として、大変贅沢な内容だと思うが、人口減少が進む傾向の中、建設にそれだけの財政力があるのか、その上、維持管理も負担にならないのか心配。</p> <p>・生涯学習センターとして、公民館施設にウェイトをおくべきではないか、しかも全てバリアフリー、エレベーター設置。</p> <p>活動内容に合わせて、大、中、小のホールを複数そなえ、活動内容に必要な設備そなえる。</p> <p>カフェなどあってもよいが、子供の遊び場は不用。</p> <p>既存の施設遊園地などの内容を充実させる。例えば保護者がついていなくても安心して遊ばせられるように、人員を配置する。(放課後活動の場)</p> <p>むしろ、図書館は縮小する。(ますます進む電子化に備える)</p> <p>いずれにしても建設場所は、大型商業施設や学校の近くがふさわしい。(利用者の利便上)</p>
33	<p>1.関沢地内には反対です。広大な面積があり、自由な構想実現には適していると思いますが、</p> <p>①私のように高齢者が利用するには不便。(徒歩、自転車では無理、国道をわたるには地下道)</p> <p>②旧町体育館、現公民館の所が、町の中心地で活用・利用し易い。町場の活性化がはかれる。</p> <p>2.施設には 150～200 名は収容できる。上映できる会場が欲しい。</p> <p>3.交通弱者を締め出さないで下さい。</p>
45	<p>資料を読ませていただきました。これまでの話し合いお疲れ様でした。広い駐車スペースを確保できるという利点があるのは、今候補地に挙がっている関沢の市有地だと思います。ただ老朽化した中央公民館と図書館を統合して多世代が交流できるか疑問があります。若い世代や子育て世代は魅力的だと思います。</p> <p>ただ、車のない高齢者は不都合な点があり(近隣住民を除いた)手だてを講じる必要があると考えます。のれんす号送迎サービス、そして駅からのシャトルバス・・・こうしたアクセスの整備が必要になってくると思います。</p> <p>私は今の場所にそれぞれ建てかえ、エレベーターを設置しバリアフリー化して、できるだけ理想に近い形にさせていただけるとありがたいです。確かに駐車スペースがネックになりますが。もう計画が進んでいるような気がしてあいまいな意見になりましたことをお許してください。</p> <p>・地下道を整備し、女の子たちが自転車で安全に通れるようにして下さい。</p> <p>・新しい市報を読み安心しました。</p> <p>よろしく願います。</p>
47	<p>先月の5月27日(火)に行われた「まちづくり協働座談会」にお声がけいただき、新しい生涯学習施設について意見交換の場に参加させていただいた事をきっかけに、パブリックコメントもお送りしてみようと思いました。</p> <p>・まず、HP から「胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)」を拝見したところ、基本計画が出始めた背景と目的に「老朽化が進んだ中央公民館と図書館の機能を複合的に備えた新しい生涯学習施設の整備」という記載があったことに目が留まりました。</p> <p>5月27日の座談会では、新しい生涯学習施設は「『つなぎ・育む』 情報・文化・交流の拠点として、複合的な施設」にするというコンセプトが決まっているだけで、「図書館」といったような何の機能を取り入れるかは具体的にはまだ決まっていない、という説明だったと思います。</p> <p>しかし、基本計画が立ち上がった時点で「図書館」と「中央公民館」の機能は新しい施設に入れようという考えがあったのであれば、座談会の時点でも最低限この2つの施設の機能を持たせることは決まっている、もしくはほぼ確定、という説明でよかったのではないかと思います。</p> <p>複合的な施設にするというコンセプトは理解できますが、具体的に何の機能を取り入れるかを数年前から絞り込めておらず、先に建設候補地選定の話が進み始めてしまい、どっちつかずのモヤっとした大枠だけが何年も右往左往している印象を持ちました。</p> <p>何かしらの事情があって建設地を先に決めなければならない、という理由があるのなら仕方がないですが、本来優先的に決めなければならないのは、どんな機能を持ち合わせた複合施設を目指すのかを、より具体的に絞り込むことではないかと思いました。</p> <p>・「基本計画(案)」のなかで「2 施設の諸室・機能構成」が出てきますが、P.14にある4.共有部に、ぜひ軽食の売店も入れて欲しいと思いました。長時間の利用になった場合、食事をとるためにわざわざ車で外出するのは不便だと思います。(特に乳児・幼児などの小さな子ども連れの場合は移動するだけでも大変です)あわせて、欲を言えば道の駅のような地場産品・特産品も販売されていると便利だと思います。リップルは閉鎖してしまったし、道の駅たいないは市の中心部から距離が離れていて利用しにくいです。市外の知人に地場産品を手土産として購入したいとき、もっと身近に買える場所が欲しいです。</p> <p>また、新しい複合施設ができれば市外の人も訪れる機会が増えると予想されるので、市の地場産品をアピールする良い場所になると思います。</p> <p>・「基本計画(案)」の「2 施設の諸室・機能構成」にある P.14 の 5.その他で、「屋外子どもの広場」と「イベント等が開催できる広場スペース」の案が出ていますが、どちらともぜひ屋根を付けた全天候型にしてほしいです。せっかく準備したイベントが天候不良で実施できなくなるのは、開催する側にとっても、楽しみにしていた来場者側にとっても、デメリットしかありません。また屋外子どもの広場も、既存の樽ヶ橋遊園が全天候型ではないため、悪天候の日は市外の遊び場を利用するしかなく、今までとても残念な思いをし続けているので、ぜひ屋根付きの広場を検討していただきたいです。</p> <p>・座談会で配られた候補地の比較表で、嘉平山にいろいろな条件の○がついていますが、最近ぶれすぼ胎内の周辺にコンビニが新設されたり、高速道路のICが出来たりしたこともあり、ぶれすぼ近隣の利便性があがっていると感じます。市有地は3,000平米しかないと記載されていましたが、工業団地の空いている敷地(県有地かもしれませんが)は利用できないのかと思いました。</p> <p>ぶれすぼや陸上競技場で子どもが習い事をしていると、その送迎をするために保護者が車でぶれすぼまで来て、習い事が終わるまでの間の時間をどう過ごして待つ</p>

	<p>ているか考えなければならぬ場面も多く、もし複合施設がふれすば近隣に出来たら、こういった時に便利だと思います。</p>
50	<p>生涯学習施設整備基本計画（案）及び広報6月13日分を読みました。</p> <p>現在月5～6回サークル等で公民館を利用しています。一番は家から近いということで休まず利用しています。多世代が利用交流する施設として子ども達が喜び高齢者が利用したいという施設であってほしい。今、利用している人の中には90代、80代の人が多く、徒歩や自転車の人も多くいます。</p> <p>①建設の場所について・・・現在の場所より遠くなく市内中心地がベストである。</p> <p>②利用について・・・現在の部屋数でも不便は感じない。バリアフリー、エレベーターなども必要である。</p> <p>③その他・・・早く建設する場所を決定してほしい。胎内市に田、畑、空き地、探せばあると思う。</p>
51	<p>意見・要望を簡潔に記載致しました。尚、普段考えておりましたこと、意見・要望に至る背景につきましてまとめたものを参考資料として添付致しましたので、ご確認やご検討を賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛される生涯学習施設 ・日本の伝統文化である木造建築を十分に取り入れ、平屋建ての1フロア ・緑化環境に恵まれた生涯学習施設 ・将来を見据えた温暖化対策や省エネ対応が十分に図られること ・図書館業務・機能の充実 ・県内の先進地を参考 ・30年、50年先を見据えた生涯学習施設の展望 ・小ホールの設置 ・施設名称は胎内市立図書館 ・建設予定地は中央公民館、旧町体の場所を希望 <p>添付資料 胎内市生涯学習施設基本計画(案)に対するパブリックコメントについて</p> <p>最初に、当市におきまして現在の胎内市図書館は本基本計画の中でも記されておりますように、昭和39年の新潟地震や東京オリンピック開催以前の昭和33年に中条町役場として建設された経緯を伺っておりました。新潟地震に耐えた建物としての認識にも思いが至ります。個人的には街中に市民が気軽に利用できる施設として利便性は高く、イチョウやメタセコイアの大樹は図書館の施設環境の調和を図ってくれて、新緑の頃、窓越しに通り抜ける緑の風は心地よく感じてきたところです。まだ、生涯学習施設基本計画(案)について、十分理解はできておりませんが、せっかくの機会、意見や要望をまとめさせて戴きました。</p> <p>以下はパブリックコメントの記載内容を補足し、意見・要望に至った背景等につきまして、まとめたものとなります。参考資料として添付させて戴きました。こちらの方もどうかご確認やら、ご検討を賜りますようお願い致します。</p> <p>(1) パブリックコメント、意見・要望の背景</p> <p>愛される生涯学習施設: 小さなお子様から高齢者の皆様まで、静音で落ち着いた環境下に楽しく、有意義で充実した施設として利用され、市民から愛される生涯学習施設を目指してほしいと願います。紙文化の衰退が取り沙汰される昨今ですが、生涯学習施設の図書館機能は今後もその中心的役割を果たしていくものと認識致します。</p> <p>日本の伝統文化である木造建築を十分に取り入れ、平屋建ての1フロア: 日本の伝統文化である木造建築、木のぬくもりはこころを落ち着かせ、精神的な活動を支えてくれるものです。生涯学習施設の建造物は可能な限り木造建築を取り入れ、図書の書架や内部の学習施設も良質な木材をふんだんに使って戴きたいと希望致します。また、施設は利用しやすい平屋建ての1フロアとします。1フロアの良さ(書籍の分類、閲覧のしやすさ、施設全体のわかり易さ)は県立図書館をはじめ、村上市、聖籠町の施設にて実感して参りました。</p> <p>緑化環境に恵まれた生涯学習施設: 施設周辺は緑化環境を十分に取り入れて整備し、生涯学習施設は落ち着いた周辺環境に恵まれるよう十分な配慮をしてほしいと希望致します。胎内市美術館、胎内市黒川郷土伝習館は大変恵まれた自然環境下の基に創設された施設として、胎内市の公共施設の中でも好例なケースと存じます。こうした恵まれた緑化環境や地理的立地条件の調和が図られている好例をあらたな生涯学習施設におきましても反映されていきますようお願いするものです。</p> <p>施設は将来を見据えた温暖化対策や省エネ対応が十分に図られること: 今後、地球規模の温暖化現象は益々厳しさを増していくことが予想されています。省エネを取り入れた空調設備の充実を図って戴くと共に、前項の恵まれた緑化環境の整備は夏場の厳しい気象条件の緩和に寄与します。緑化環境の整備は優れた温暖化対策だと思います。</p> <p>図書館業務・機能の充実: 既に県立図書館では、音楽CD、DVDの貸出し業務を行い定着しておりますが、この度の生涯学習施設の整備を機会に本市の図書館業務におきましても音楽CDやDVDの貸出しを始めて戴きたいと希望致します。例えば、CDにつきましては小学校、中学校の音楽教育に教材として馴染みの深いクラシック音楽、楽器演奏習得を目的とするもの、文化・文芸に著名な方々の講演を収録されたもの、また、DVDにつきましては映画の名作をはじめ、教育、趣味、文化活動に人生を有意に、生きがいづくりに役立てられるものを対象として充実を図って戴きたいと願うものです。</p> <p>胎内市図書館では、県立図書館に足を運ばなくとも県立図書館所蔵の書籍等を胎内市図書館の窓口にて申請により、貸出し・返却可能となっている訳ですが、今後とも図書館業務・機能の充実、他館との連携 推進を宜しくお願い致します。</p> <p>県内の先進地を参考: 建設計画の具体化・実施を前に、近隣の先進地、村上市立中央図書館や聖籠町立図書館、県立図書館の施設の良さを十分参考にしてほしいと希望致します。</p>

30年、50年先を見据えた生涯学習施設の展望: 少子高齢化、人口減少、紙文化の衰退と生涯学習施設を取り巻く、将来の展望は容易に描くことが難しくなっており、過剰設備とならないよう、また、既存の公共施設によって活かされる場所は活かすことが大切になっていくと思います。新たな生涯学習施設の建設には将来の人口動向を見据えた配慮、絞り込みも必要と考えます。

本基本計画1頁に胎内市の人口の推移記載がございますが、国立人口問題研究所の推計によりますと、40年後の2065年には胎内市の人口推計は14,310人となっております。公共施設のあり方について、慎重な検証・検討が必要なことに共感致します。

黒川郷土伝習館は市民の調理実習などの活動を支援する場を提供することにも有効と思います。更なる支援充実を図る取り組みが望まれると存じます。また、長池の旧農産物直販所の施設は音楽活動を支援する場としても有効に活用できる可能性を持っているのではないのでしょうか。既存の公共施設の有効利用、将来を見据え、柔軟な対応・発想が求められているように存じます。

小ホールの設置: 生涯学習施設に主に講演会、研修会、各種集会・会合を目的とする小ホール(収容人数:120人程度)は予算的にも実現可能であれば、あってよいと判断致します。人口減少、少子高齢化が進んでいく中であっても有用に活用されていくことが見込まれると存じます。

生涯学習施設名称は胎内市立図書館: 生涯学習設備・機能を盛り込んだ施設の名称は「胎内市立図書館」とします。

生涯学習施設建設予定地は中央公民館、旧町体の場所を希望: 簡潔に建設予定地の希望評価を以下に記します。

建設予定地候補	希望評価
交通の便が良くわかりやすい場所	○
市内の中心地	△
駅の近く	×
中央公民館、旧町体の場所	○
市役所、プレスポ、公園、学校の近く	△
図書館と集会スペースは駅近く、公民館とスポーツ施設は広いところ	△～×

尚、嘉平山の候補地につきましては△、個人的には黒川支所、黒川地区公民館の近くを考えなくもないのですが、中条地区の皆さんからはちょっと遠く、果たして、広く賛同を得られるものかと思っております。

参考として

インターネット検索にて「市民参加の図書館づくり」をテーマとする全国各地の事例について確認することができます。生涯学習施設(複合施設)はやはり図書館が主人公、誰もが訪れたいような魅力ある図書館づくりを目指してほしい。私はそのための要件の一つが郷土の歴史文化が大切にされた図書館と思った次第です。

以下に参考資料として新潟日報サービスセンター発行「好きです新潟ふれっぷ」2016年9月号の小冊子より抜粋したものを盛り込みました。

佐渡市の畑野鳥越文庫は写真・資料からも好印象の図書館として伝わってきます。木を生かした館内、書棚、床のフローリング、天井も高くなく、省エネ設計が生かされていると感じます。また、緑豊かな景色を取り入れた屋内環境がとても素晴らしいと思います。県立図書館も素晴らしい環境下に知的活動を進めることが出来ますが、その良さを十分に取り入れて戴きたいと願っております。

前頁の写真は県立図書館や胎内市役所・産業文化会館、黒崎市民会館(黒崎地区公民館)の駐車場ですが、本市の取り組みにおきましても、駐車場内に緑地帯を設けることにより駐車場における車同士の接触事故などのリスク軽減、気象条件の緩和や景観の保持など、多方面にその役割を果たしてきているとあらためて受け止めているところです。

2022年9月、イベントの参加で黒崎市民会館を訪れた際、駐車場の緑化形態が本当に素晴らしいと感銘しました。一定サイズのレンガブロックを敷いて、その間に芝生が植えられていました。こうした形態をとることで夏場の熱射による照り返しを和らげる効果をねらったものと推察されました。本基本計画における駐車場の整備におきまして、本市のこれまでの取り組みはもとより、黒崎市民会館のような取り組みにつきましてもご検討戴ければ幸いです。

結びに

生涯学習設備基本計画より

p6: 「中央公民館の課題」におきまして、調理実習室、音楽室、美術工芸室に関する整備につきましては、既存の公共施設の活用を優先して検討・具体化されることを希望致します。

p8、p9: 「コンセプトのイメージ」学びの場の提供、気軽に訪れることが出来る施設、利用しやすい魅力ある交流施設、生涯学習、知と情報、交流の拠点の記載内容に賛同致します。

p11: 「人口推計や持続可能性を考慮することで効率化を図り、可能な限りコンパクトな施設を実現し、建設コスト、維持管理コストの圧縮を図ります。」賛同致しますが、ゆとり空間の確保、施設周辺の緑化環境の整備、施設全体の調和を図られことを宜しくお願い致します。

生涯学習の支援と推進、市民の教養・文化意識の高揚、次世代の人材育成、シニア世代や高齢者の生きがい作りとしての拠点の役割を果たしていくことなど、行政上、街づくりの根幹を成すもので、公民館や図書館等の生涯学習施設はそれぞれの市町村の文化度を表していると思います。恐れ入りますが、胎内市は県内の市町村において、整備の立ち遅れは否めないと感じておりました。

生涯学習施設や文化施設は人口減少や高齢化により利用減少が推察される中に、今後の展望を推し図ることは簡単なことではないと考えます。新設を予定したい生涯学習施設から市民が新たな可能性を育み、地域の発展と豊かな暮らしにつながることを願い、利用しやすく、市民に愛される生涯学習施設として整備し、充実を図って戴きたいと願うものです。

58

1.ロケーションについて

当初、3地域が候補になっていたが、嘉平山は以下の点でベストの選択である。

(1)中条駅から近い、(2)面積が広い、(3)適度な高さである、(4) 国道に隣接している。

ただ、市の計画の概略を見ると、関沢よりになっており、比較的平地が多い飯角側が除外されている。後述するように、将来の発展性を考慮したものなら理解できるが、下記エリアは凹凸が多いので、もし平地にするのならコストがかかるのではないか。平地にしない場合は施設が利用しづらくなるのではないか。

2. アクセスについて

関沢口はほぼ決まりだろうが、国道からのアクセスと飯角地区からのアクセスが必須である。とりわけ、飯角川と船戸川が合流している飯角は、避難場所として市が指定している中条小学校やぶれすぼ体育館には行けなくなる可能性がある。2022年8月の豪雨では、越水寸前まで水位が上昇した。したがって、現在、関沢に行く道路なく、半山方向も冠水することから、上記の河川の上方に居住している1~6班(全9班ある)の飯角住民は事実上孤立することになる。そのため、当該地域から近い飯角公会堂近くからのアクセス道路が絶対必要である。

下表は、国土地理院HPで調べた飯角以外の地域の標高であるが、中条小学校は飯角の最低地と同等、ぶれすぼ胎内体育館は飯角より低いので、豪雨の場合、移動は難しい。飯角公会堂は33mだが、直前の嘉平山が35.8mなので、約3m高低差になり、勾配を緩やかに設定すればアクセスはさほど困難ではない。

(1)嘉平山(関沢入口)19m	(9) 水澤化学工業入口前 16.2m
(2)嘉平山(国道7号入口)20.4m	(10)中条中央病院前 15.6m
(3)嘉平山(最高地点) 40.4m	(11)長橋公会堂前 12m
(4) スーパーひらせい前 24.5m	(12) 道の駅加治川 6.6m
(5)中条小屋内運動場前 21.6m	(13)日本海東北道(中条)入口 5.7m
(6) ぶれすぼ胎内体育館前 16.9m	(14)乙宝寺前 4.7m
(7)胎内市役所前道路 25.9m	(15)国道7号 黒川十字路 55m
(8) JR 中条駅前 17.9m	(16)櫛形山(山頂) 568m

かくして、上表から推定すれば、飯角からの当該施設へのアクセスは比較的楽に行けるだろう。関沢口は道路が長い分スロープは緩やかだが、距離がある。

3.シェルター施設として

市の計画によると、防・減災目的にも供するとある。飯角町内会は2020年2月10日に市長宛に、2022年7月26日に当時の県会議員富樫一成氏に「嘉平山の健康・防災公園化他についての要望書」を提出している。生涯学習施設の建設は大歓迎だが、前項で示唆したように、災害時の避難場所としての機能は飯角や関沢他の地域の住民にも必須である。その場合、最低限の避難場機能、休息所やトイレはもちろん、シャワーもほしい。

4.駐車場について

市の計画によれば、約250台分確保するとあるが、十分とはいえない、通常はきちんとラインを引き、車止めブロックのあるタイプのものを想定するが、避難所やイベントの用途を考慮するとシンプルなラインだけでよいと思う。また、比較的大規模のイベント開催のために、たとえば、本年4月の五十公野公園もクロライブのように、競技場がなくてもそれに代替できる広大な平面地を確保してほしい。

5.イベント用地として

前項で示唆したように、ライブや祭り、発表会等の会場としての機能を持たせてほしい。施設内に100名~のホールは設置されるようだが、前述のももクロのようなイベントを開催できるキャパシティの会場は胎内市にはない。胎内市は他の市町村と比較して文化・芸術活動が低調であるとの声をよく聞くが、その理由の一つとして、施設の設計の拙さがある。体育館はあるが、遠く、観客席がない。陸上競技場はあるがアクセスが悪く、老朽化している、トイレも劣悪である。産業文化会館はキャパシティが小さく、使い勝手が悪い。たとえば、搬入口の高さがあり得ない高さである。716席の会場にふさわしい規模の緒機材は2~4トン車レベルである。しかし、当該施設の搬入口の高さは大型車レベルである。ちなみに10年前に建設された埼玉県川越市の「ウエスタ川越」は1,700席だが、2トン車レベルの搬入口の高さである。しかも駅に隣接した施設であるにも関わらず、地下駐車場は204台分ある。区長会程度の集まりで、市役所を含めて、駐車場が満杯になる。時代とはいえ、駐車場のない旧中条体育館やアクセスを考えていないホテル、今は民間企業の手に移ったが、イリノイ大学は講堂行きのエレベーターがない。体育館もシャワー室がない等、もう少し知恵を出せば、利用度が格段に上がるのだが、今回は同じ轍を踏まないでほしい。とにかく面積は十分なことから、利用可能性と将来性を考えてほしい。

6.施設について

(1) wifi 環境

今や、通信機器は日常的な利用目的はもちろんのこと、防・減災目的にも最良のwifiシステムを構築する必要がある。同時接続台数と通信速度、通信範囲を考慮してほしい。とくにイベントや被災時には同時接続数が少ないwifiはまったく使い物にならない。現在200台同時接続できる機種もある。また、最近「道の駅」でも無料wifiが使えるようになっている。この種のシステムの利用も考えられるのではないか。

(2) PA

PA(public address: 音響)は、必ずしも高額な設備にすることはないが、近年の音響理論にかなった最新のシステムにしてほしい。100人程度程度のキャパシティーでも、ラインアレー方式のスピーカーが有効であるし、わずかの学習時間で使えるミキサーとアンプ、プロセッサー等を準備してほしい。これにプロジェクターとスクリーンを合わせることで、低コストでもかなり質の高い映画館ができる。産業文化会館でも映画を上映しているが、サラウンド環境ではないようである。これからの映画鑑賞にはせめて5.1程度のサラウンドは必要だろう。

また、嘉平山は方向を選べば、野外ライブが可能である。かつて、筆者は岩船港緑地ステージでカラオケ大会のPAをやったことがあるが、海に見える広々とした会場でのイベントはなかなかのものであった。嘉平山も楡形山脈を眺めてのライブは格別のものとなるであろう。そのために必要なのは駐車場と兼用の広場と簡易な屋外ステージ、電源だけである。(ちなみに岩船港緑地ステージには電源がなかった。)

(3) 電源と生活用水他

なお、電源であるが、災害時を考えれば、緊急用システムが必要である、太陽光発電+バッテリーがあればスマホ充電用とwifiルーター用は比較的lowコストで済む。酷暑の停電時に備えて、できればエアコン用もほしい。

本施設内のイベントやライブ・コンサート用となると、室内なら1回路3kVA程度で十分であるが、屋外・野外となるとその10倍は必要である。また、かつての照明器具、たとえばハロゲンランプのピンスポット1基で1kVA程度の電力を消費したが、現在はLED化され、数分の一で済む。しかし、イベント用キッチンカー他の用途もあるので、ある程度の電力は準備する必要がある。

水は飲料用の確保は当たり前だが、トイレ用生活水の確保はきわめて重要である。各地の被災後のトイレ問題から明らかなように、何としてもトイレ用水は確保しなければならない。ただ、そのための大掛かりの貯水槽の設置は必要ないだろう。幸い、嘉平山近辺にはいくつかの川があるので、エンジンポンプでくみ上げるか、嘉平山内の沼や池の水をくみ上げてよい、ちなみに、飯角町内会にはエンジンポンプで生活用水をくみ上げるようにしてある。

7.安全対策

市の「計画書」(案)に、嘉平山の問題点として「熊が出る」との文言があった。本年、市内の町うちに熊が出没して大騒ぎになったことから、もはや山(だけ)に熊が出る、といったステレオタイプの議論は意味がなくなった。とはいえ、山側のエリアは熊に限らず、サルや猪、たぬき、へび等が出る頻度は高いだろう。当該施設を完全遮断・密閉状態にしないかぎり、そうした獣害リスクは避けられない、適切な対策が望まれる。

また、近年、全国的に落雷被害が多くなっている。個人的なことだが、これまで2度落雷によって電気機器が損傷した。直接の落雷は甚大な被害をもたらすが、直撃雷でなくても、逆流雷や誘導雷が原因で被害を受けることがある。当該施設は高台に位置する大型施設となるので、こうした面でも工夫してほしい。長年、飯角に暮らしている方の話では、落雷の場所はかなり限定されているという。当該施設が20m以上の構造物になるかどうかかわからないが、接地抵抗を下げ、避雷針やSPDを設置すべきだろう。

今のところ、施設の利用時間や管理方法などの情報はない。たとえば、建物施設は閉館しても駐車場は使えるとか、駐車場も含めてすべて閉めるといった使い方をするのか不明である。もし前者の場合なら、市外の者も駐車場を使う可能性がある、町内の中には、「当該施設によって町内によそ者が入ってきて不安である」と懸念する者もいる、施設運営計画に入れておいてほしいポイントである。

8.利用期間・時間

低い山とはいえ、どのアクセス・ルートも坂になる。いうまでもないことだが、冬期間の路面凍結や圧雪による事故は最小限になるように配慮してほしい。また、関沢口も飯角口も十分な幅員を持つ道路にしてほしい。

(健康)公園やシェルターとしての機能を考慮すると24時間、公園内を通行できることが前提になる。2022年8月の豪雨では、歩行困難の隣家の住人がクルマで夜中に中条小学校に避難しようとしたが、結局避難できず帰宅した、災害はいつ起きるかかわからないし、身体の不自由な者は階段さえ上がれない、自らがそうしたカテゴリーの人になったつもりで、施設を設計してほしい。いずれにしろ、飯角地区の住民は、嘉平山公園とその中の建物が最良の避難場所になる。

9.名称

普通に考えれば「胎内市生涯学習センター」になるのかもしれないが、われわれのような市外に勤める多くの者が市名に違和感を持っている。外部の方たちからこの面妖な市名を指摘されているからである。サブ・タイトルや愛称でよいから、今後市の施設にはなるべく「胎内」はつけないでほしい。Lifelong learning(生涯学習)を基にすれば「L.ラーニング」や単に「ラーニング・センター」、あるいは公民館(community center)、図書館(library)、L・C会館、図書館を現代風にメディア(media)と表現すれば、MC会館、MCセンター(media and community center)と省略形できる表現を考えた方がよい。

胎内市生涯学習センターを「タイショウ」や「ショウガイ」、「タイショウ ガク」と言い換えるのは奇異な印象がする。地名を優先させるのなら単純に「関沢館」や「飯関館」もあるが、当地に因縁のある「板額御前」を援用する方法もある。ちなみに「板額」を読み替えたのが飯角であるといった記述もある。まず公園名を決めてほしい。

10.サービス内容

市民大学や公開講座等、さまざまなサービスが考えられるが、近年、政府が推し進めている"recurrent"や"reskilling"を冠した教育が本施設の目的にマッチしているかどうかはわからない。ただ、学校教育は大学院といえども、社会人として禄を食むための準備機関である。このように考えると、われわれは仕事のため、スキル・アップのため、教養を高めるためにずっと勉強し続けている。これを学校教育と分離してリカレント教育やリスキリングなどと強調するのは不自然である。「人はこの世に生を受けてから、ずっと学び、鍛え続ける」のである。子どもから高齢者までの知的アクセス・ポイントとして、本メディア施設が機能する。

市民が自由に当該施設を利用するのはもちろんだが、今後はもう少しアドバンスして、経済学でいうところのシグナリングの目的の施設にしてはどうか。たとえば、市民大学や教養講座を開設するなら、受講者にたいして単位認定し、修了証に類するディグリーを授与する。大学のように124単位=卒業にする必要はない。「PC&Net講座」や「環境と経済」、「現代の政治」、「現代の経済」、「現代の法律」、「地域経済」、「マスコミ・リテラシー」、「FP(Financial Planning)」、「現代健康講座」、「映画」、「文学」、「音楽」、「美術」、「英会話」等、いくらでも講座名が浮かぶが、要は単講座単位にすることである。

これからの公民館と図書館は建物・施設の機能だけでは物足りない、行政が確たる目的を持って積極的にプログラムを立案すべきである。

	<p>11.施設 図書、ビデオ</p> <p>図書館なので、書籍や資料をストックしておくのは当然のことであるが、近年、大学も集積の限界から、図書の購入や研究雑誌の交換を制限しているところもある。国立国会図書館のように、あらゆる書籍・資料を納本させているところは別だが、市町村レベルの図書館は、一定のフォーマットで図書・資料を収集しなければならない。市民のリクエストによるものもあるだろうが、今後はコスト削減目的からも、市民からの献本を制度化したらどうだろうか。また、図書館として特徴を持たせるなら、ある領域に特化(eg.漫画)するのもよいだろう。「あの市の図書館にいけば、(この分野は)何でもある」と。</p> <p>これまでビデオのストックが皆無だったと知り少し驚いたが、今後この分野のメディアも重視しなければならない。著作権の問題もあるが、市民が低コストで利用できる方法を考えてほしい。</p> <p>12.備品</p> <p>ロイヤル胎内パーク・ホテルには、スタインウェイ&サンズの最上級モデル D -274 がある。ネットで検索すると、37,829,000 円(税込)と出てくるが、中古でも相当高額のモデルである。これをホテルからレンタルできないだろうか。あのホテルより当該施設はアクセスが良い。本市の貴重な財産とみなせば、許可して戴けるのではないか。</p> <p>13.周辺地域の整備</p> <p>飯角公会堂前の道路とそれと交差して山に向かう道路は、8,28 水害後の移転に伴って以降整備されていないため、きわめて狭隘で、近年は重量除雪車の走行、およびここ数年の豪雨による道路内部の土石の流失により、かなり傷んでいる。今から宅地を使つての拡幅はできないかもしれないが、側溝(これも豪雨時にはすぐにキャパシティー・オーバーになる)の整備等により、見かけ上の拡幅は可能である。関沢側の道路はかなり整備されており、当該施設へのアクセスは容易で安全だが、飯角は住宅地を通り抜けていかなければならず、クルマの運転も難しく安全ではない。とくに冬季は飯角川にかかる橋(諸橋建築様前)は凍結することが多く、不慣れな者の運転は危険である。しかし、避難所として施設を利用するとすると、どうしても川から山側に居住する者は、飯角公会堂前の道路から登って行くしかない。</p> <p>以上、現在要点思われる点についてコメントしましたが、将来近隣住民にたいする説明会が開催されるようなことがありましたら、また意見を集約しておきます。</p>
--	---

2 回答

【建設候補地について】(関係する質問：上記全て) ※再掲

胎内市生涯学習施設整備基本構想の策定にあたっては、当時の検討委員会やワークショップを通じて、市民代表の皆様からいただいたご意見を踏まえ、図書館や公民館の機能に加え、多世代や子育て世代の全市民を対象とする施設として検討を進めてきております。

建設候補地につきましては、駅周辺や旧中条体育館跡地といった案も挙がりましたが、たとえば駅周辺は敷地の広さを含め、適切な土地の確保が難しいこと、また旧中条町体育館跡地は今後の統合中学校の建設候補地としても検討されていることなどから、様々な条件を総合的に勘案し、現時点では関沢地内(通称：嘉平山)をあくまでも予定地ではなく、有力候補地として挙げているところです。※基本計画(案)18頁、「5 建設候補地」参照

建設候補地に関しては、市民の皆様からいただいた多様なご意見を今後も丁寧に受け止めながら、専門的な知見も踏まえて、できる限り多くの皆様にご利用いただけるよう、望ましい方向性を見出してまいりたいと思います。

なお、今後、市民説明会を開催し、市民の皆様からの様々なご意見に耳を傾けながら多様な意見を望ましい方向に集約すべく、市に対して答申を行っていただく組織を立ち上げる予定としております。

【徒歩で行ける場所について】(関係する質問：No.25、33、45、51) ※再掲

生涯学習施設は地区住民に限らず、市内全域の市民の皆様にご利用いただくことを前提としております。全ての地域から徒歩でお越しいただけるわけではありませんが、できる限り多くの方がアクセスしやすい立地となるよう検討を進めてまいります。

また、「のれんす号」の活用に加え、定期バスの運行についても検討してまいりたいと考えております。

なお、生涯学習施設は市民全体の施設として位置づけておりますが、現在の図書館と中央公民館は、これまで主たる利用の実相としては、中条地区の皆様への施設としての役割を果たしてきたものと受け止めており、中条地区においても、乙、築地、黒川地区の地区公民館等と同様に、図書室を併設した公民館的な機能については、既存施設の活用等を含め、その機能を維持していくことを基本方針としております。

【複合施設について】(関係する質問：No.30、33、45、47、51、58)

子ども・子育て世代や多世代交流を促進する交流施設としての機能も加え、公民館機能、図書館機能、多世代交流の場という3つの役割を担う複合施設の整備を目指していきたいと考えております。

検討委員会やワークショップを通じて、市民の代表の方からの意見を踏まえ、複合施設として整備することで、相互の連携を深め、市民の学びや課題解決を支援する、効率的かつ効果的な環境を整えてまいりたいと考えております。

【その他ご意見について】(関係する質問：上記全て) ※再掲

その他いただいた貴重なご意見は、今後の検討や運営の参考とさせていただきます。